

オンライン公開セミナー(第2回)

# 能登半島の風力発電における 『累積的影響評価』を考える 2

主催：石川県立大学生物資源環境学部 緑地環境学研究室

共催：東京都市大学環境学部 北村研究室

カーボンニュートラルの実現や、環境を重視したESG投資が社会的な潮流となる中、再生可能エネルギーへの期待が高まっています。

能登半島においても多くの風力発電機の設置や建て替えが計画されており、環境アセスメントの手続きが始まっています。一方で複数の計画が並行して進んでおり、地域の自然環境やトキの野生復帰への影響も懸念されていますが、複数の風力発電機による複合的・累積的な影響については国内では情報が不足しています。そこで本セミナーでは、特に「鳥類への影響」に着目し、累積的影響評価の技術や課題を学びます。

※ 本セミナーでは、学術的な中立の立場から『累積的影響評価』の技術を学ぶことを目的としています。

**日時：2022年7月2日(土) 14時00分～15時30分**

**場所：Zoom ウェビナーによるオンライン開催**

## 【プログラム】

はじめに：第1回の議論の振り返りと今回の狙い

上野 裕介 (石川県立大学生物資源環境学部 准教授)

講演1：累積的影響に配慮するためのアセス手続きの工夫

柴田 裕希 (東邦大学理学部 生命圏環境科学科 准教授)

講演2：風力発電と鳥類における累積的影響評価

浦 達也 ((公財)日本野鳥の会 自然保護室 主任研究員)

総合討論・コメント：北村 亘 (東京都市大学環境学部 准教授)

参加者数：100名 (先着順です)

申込方法：以下のURLもしくは2次元バーコードから事前に登録してください。

開催日の午前中までに、接続用のZoomURLをお送りします。

<https://forms.gle/LddkAE7QofqqLkJ06>

問合せ：石川県立大学 緑地環境学研究室 kendai.ryokuchi@gmail.com



申込フォーム